

・10月 開拓120周年記念式典アトラクション「小中合同合唱」・合同合唱練習2回



▲2/4 幼小中が集うグループ会議

- ・11月 体験登校～園児と小1、「お店屋さんごっこ」を通して交流。
- ・12月 小学校ほたる学級クリスマスパーティ等に中学生参加。
- ・2月 新入生1日入学（幼稚園児が小学校へ）
体験入園・1日体験入学（小6がほぼ1日中学校生活を体験）



▲2/5 小学校1日入学

③保護者がつながる ～家庭地域部会、町P連の動き～

生活リズムシート、モンスター攻略ブック等を通し、子ども達の生活改善に取り組むことができました。部会員の皆さんの「子ども達のために」の思いが、沼田っ子の生活習慣改善を支えています。次年度は、生活グループと連携し、さらに子育ての輪を広げます。SNSやノーゲームデー等も次年度の課題です。

○家庭地域部会

- ・北海道教育委員会から出された生活リズムチェックシートの沼田版への改善と実施、モンスター攻略ブック等の分析と実態交流。（合計7回実施）
- ・10月 町P連役員と教育委員との懇談会～学力向上・生活改善・情報交流等

★次年度に向けて

- H27年度は3年計画の3年次のまとめの年となり、公開研究会開催を全道に発信します。
- 系統表の作成、乗り入れ授業、合同授業、体験登校、各種交流活動を充実させます。
- 小中合同運動会実施の方向で検討を進めています。
- 道教育委員会指定「小中連携、一貫教育実践事業」（2/3年次）となり、濃密な支援を受け推進します。
- 家庭地域部会が、学校、家庭と連携し、生活習慣改善を目指す「日課表」の作成と実践を呼びかけます。

★5月30日（土）小中合同運動会

★10月28日（水）沼田町一貫・連携教育大会
～皆様のご理解とご協力を願いいたします～



▲8/26 ポートハーディ訪問団来町

《沼田ならではの新たな教育スタイル》 幼小中一貫・連携教育進の一年を振り返って

毎年4月に行われる全国学力・学習状況調査（小学校6年生と中学3年誠実施）では、小学校は、全国平均を上回ることができました。中学校も全国との差が縮まりつつあり、学力向上の兆しが感じられます。沼田町一貫・連携教育は、平成25年度から始まり、徐々にその成果が現れてきています。今年度は、3年計画の2年目であり、目標年である27年度までに一定の形を作るため、具体的な形を作りしていく重要な1年としてスタートしました。

★具体的な取り組み

①教職員がつながる ～諸会議、研修会を通して～

一貫・連携教育は、「つながる」ことが重要です。幼・小・中をつなぐために先進事例を取り入れ、教職員が努力に努力を重ね、沼田ならではの新たな教育スタイルを確立しつつあります。



▲2/4 幼小中が集うグループ会議

○諸会議、研修会

一年の計画を立案し、H27年度公開研究大会の準備や7回の全体会議、グループ会議を通して次の取り組みが、より具体的に進められました。

- ・10年間を見通した「学習ガイド」
- ・小中がつながる「系統表」
- ・教師が行き交う「乗り入れ授業」
- ・子ども達の「実態把握」



▲11/26 圧倒的な理念とパワーの西川先生

6月には、道教委から「小中連携一貫教育実践事業」の指定を受け、空知教育局からの力強い指導助言を頂ける体制が整いました。10月、一貫教育全国サミット姫路大会への派遣、11月、国内における一貫教育第一人者 京都産業大学 西川信廣教授を迎える、「学校と教師を変える小中一貫教育」と題して、教育講演会を開催出来たことも大きな成果でした。

②子どもがつながる ～乗り入れ授業、体験登校、行事での動き～

教職員がつなげた一貫・連携の仕組みの中で、幼稚園児と小学生が、小学生と中学生が、生き生きとつながりました。園児や小6はワクワクしながら瞳を輝かせ、小1や中学生は精一杯あこがれの先輩になれるように振る舞う、その姿を見守る先生からも笑みがこぼれています。

○乗り入れ授業、体験登校、行事

- ・6月、8月の小川校長中学校長が口火を切った英語乗り入れ授業（①沼小6年、②沼小5年）
- ・8月 夜高あんどん祭りに向けて小中合同跳ね踊り練習
- ・9月 沼小写生会に中学校美術教師が乗り入れ授業（小6年国画～恵比島駅）
中学校菜園にてジャガイモ収穫とカレーライス作り（特別支援学級小中合同授業）
- ・10月 幼稚園自主公開研究大会（生き生き遊びを楽しむ）体験登校（小6が中学校で理科、英語の授業を体験）



▲6/27 英語乗り入れ授業（小川校長）



▲8/19 小中でヨイイヤサー



▲9/10 中学校美術教師が小6へ乗り入れ



▲10/2 体験登校理科（小6）